


## 1 実践の概要

実践校・園	県立養護学校天王みどり学園	
タイトル	近隣の公共施設との合同避難訓練	
実施月日(曜日)	平成24年5月30日(水)	
実施場所	県立養護学校天王みどり学園校舎、県総合教育センター、県自治研修所	
想定 場面	時間帯	授業時間(11:30~11:50)
	災害の種類	地震発生後、校舎火災による避難時の初期対応を想定
参加者	全校児童生徒115名・教職員89名、県総合教育センター職員35名、県自治研修所職員10名	

## 2 実践内容

実践方法と進め方	工夫した点○ 苦勞した点●
<p>1 事前打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天王みどり学園、県総合教育センター、県自治研修所の担当者</li> <li>児童生徒の事前学習</li> </ul> <p>2 避難訓練当日</p> <p>(1) 地震、天王みどり学園厨房から火災発生</p> <p>(2) 避難対応訓練</p>  <p>3 避難訓練終了後</p> <p>(1) 反省アンケートの実施</p> <p>(2) 改善事項の確認</p>	<p>○合同の訓練であるため、タイムテーブル(地震、火災発生、避難)を基にした打ち合わせを行った。本校職員には実施計画書のみを配布。</p> <p>○各学級の児童生徒の実態に応じ、避難訓練時の基本動作の確認を主とした事前・事後学習を各1~2時間ずつ設定した。</p> <p>○天王みどり学園からの火災発生連絡は、停電等を想定し、県総合教育センター・県自治研修所に直接出向いて行った。</p> <p>○天王みどり学園児童生徒は、県総合教育センター体育館・研修室等で授業を行っている場合があるので、県総合教育センター職員に避難誘導時の協力を要請した。</p> <p>○これまでの形式化しがちだった訓練を見直し、天王みどり学園職員は、実際の災害時に、県総合教育センター職員へ具体的な援助の指示をすることを確認した。</p> <p>○これまでの記入式アンケートと比較し、避難時の様子や検討事項の確認を共通理解しやすいように、各学部単位で話し合いを行った。</p>

連携先	団体名・組織名	連携の内容
学校・教育関係・同窓会等	・県総合教育センター	・訓練事前打ち合わせ ・当日の避難対応(児童生徒避難誘導)
国・地方公共団体・公共施設	・県自治研修所	・訓練事前打ち合わせ

### 3 成果と課題

<b>成 果</b>	<p>1 避難訓練時に合同学習を行っていた学部が多く、主担当教員を中心とした避難体制づくりを速やかに行う意識が高まった。</p> <p>2 車いすの児童生徒の避難誘導を見直し、対応職員の動きを確認できた。</p> <p>3 より積極的、具体的な指示をする必要はあるが、天王みどり学園の職員と県総合教育センター職員が相互に協力して避難誘導する意識が高まった。</p>
<b>課 題</b>	<p>1 医療的ケアをケアルームで行っている車いすの児童生徒の避難誘導は、担任だけでは不十分なので、事務部職員が応援に向かう。</p> <p>2 県総合教育センター内で授業を行う教職員は、児童生徒の居場所確認のため、事務室にある授業携行セット（児童生徒名簿、携帯ラジオ、携帯電話）を携行する際、事務職員に必ず声を掛ける。</p> <p>3 県総合教育センター内の避難経路を再度確認し、熟知しておく。</p> <p>4 天王みどり学園、県総合教育センター、県自治研修所は緊急時の放送が共通で流せるよう施設設備の変更・改善を要望していく。</p>
<b>今後の継続予定</b>	<p>1年1回の合同避難訓練を継続しながら、緊急時は天王みどり学園の職員と県総合教育センター職員が相互に協力して避難誘導する常態化を目指し、訓練を継続する。</p>

#### 1 実践の概要

<b>実践校・園</b>	県立養護学校天王みどり学園
<b>タイトル</b>	近隣の公共施設や小学校との合同避難訓練
<b>実施月日（曜日）</b>	平成24年9月7日（金）
<b>実施場所</b>	県立養護学校天王みどり学園校舎、潟上市立追分小学校、県総合教育センター
<b>想定</b>	<b>時間帯</b> 授業時間（10：10～10：40）
<b>場面</b>	<b>災害の種類</b> 地震発生後、津波による避難時の初期対応を想定
<b>参加者</b>	全校児童生徒115名・教職員89名、追分小学校児童389名・教職員46名

#### 2 実践内容

実践方法と進め方	工夫した点○ 苦勞した点●
<p>1 事前打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天王みどり学園、追分小学校、県総合教育センターの担当者</li> <li>児童生徒の事前学習</li> </ul>	<p>○合同の訓練であるため、タイムテーブル（地震、津波の危険、避難）を基にした打ち合わせを行った。本校職員には実施計画書のみを配布。</p> <p>○各学級の児童生徒の実態に応じ、避難訓練時の基本動作の確認を主とした事前・事後学習を各1～2時間ずつ設定した。</p>
<p>2 避難訓練当日</p> <p>（1）地震、津波発生の危険</p>	<p>○訓練当日に追分小学校では予告なしの地震、津波発生の避</p>

(2) 避難対応訓練



3 避難訓練終了後

- (1) 反省アンケートの実施
- (2) 改善事項の確認

難訓練があり、同日に訓練を実施した。

- 天王みどり学園の車いすの児童生徒は総合教育センターに避難し、それ以外の児童生徒は追分小グラウンドに避難した。
- 天王みどり学園からの避難協力依頼の連絡は、停電等を想定し、県総合教育センターに直接出向いて行った。
- 県総合教育センター体育館・研修室等で授業を行っている場合があるので、県総合教育センター職員に避難誘導時の協力を要請した。
- 天王みどり学園職員は、前回の反省を基に、実際の避難を想定し、県総合教育センター職員へ具体的な援助の指示をすることを確認した。
- これまでの記入式アンケートと比較し、避難時の様子や検討事項の確認を共通理解しやすいように、各学部単位で話し合いを行った。

連携先	団体名・組織名	連携の内容
学校・教育関係・同窓会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県総合教育センター</li> <li>・ 追分小学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓練事前打ち合わせ</li> <li>・ 当日の避難対応（児童生徒避難誘導）</li> <li>・ 訓練事前打ち合わせ</li> <li>・ 当日の避難対応（まとめの会の合同実施）</li> </ul>

3 成果と課題


成 果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 両校合同で避難訓練を実施したことにより、災害時は避難や誘導の協力を行う意識を高めることができた。</li> <li>2 車いすの児童生徒の階段移動や追分小学校までの避難時に、本校職員が県総合教育センター職員へどのように対応してほしいかを具体的に伝えたり、県総合教育センター職員自らが協力を申し出たりするようになってきた。</li> </ol>
課 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 避難場所が2カ所の場合、人員確認や児童生徒がどちらに避難したか等の連絡系統に不安がある。</li> <li>2 県総合教育センターの階段は幅が狭いため、車いすの児童生徒の避難移動に時間を要する。速やかな避難をする場合、車いすから降ろして運ぶ方が効率的な場合も考えられる。</li> <li>3 追分小学校への避難移動に配慮し、開始時刻を追分小学校より10分早めたが、訓練の臨場感や緊張感を保つためにも、今後は同時刻に実施する。</li> </ol>
今後の継続予定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 合同避難訓練を継続しながら、天王みどり学園と追分小学校が相互に協力して避難する体制づくりを進める。</li> </ol>

1 実践の概要

実践校・園	県立養護学校天王みどり学園
タイトル	予告なしの避難訓練
実施月日(曜日)	平成25年1月29日(火)

<b>実施場所</b>		県立養護学校天王みどり学園校舎
<b>想定 場面</b>	<b>時間帯</b>	昼休み（12：50～13：00）
	<b>災害の種類</b>	地震発生後、校舎外への避難に向けた初期対応を想定
<b>参加者</b>		全校児童生徒115名・教職員89名

## 2 実践内容

<b>実践方法と進め方</b>	<b>工夫した点○ 苦労した点●</b>
<p>1 事前打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校職員</li> <li>・児童生徒の事前学習</li> </ul> <p>2 避難訓練当日</p> <p>(1) 地震発生</p> <p>(2) 避難対応訓練</p>  <p>3 避難訓練終了後</p> <p>(1) 反省アンケートの実施</p> <p>(2) 改善事項の確認</p>	<p>○1月28日（月）～2月1日（金）の週に職員・児童生徒に予告なしで実施することにした。</p> <p>○全校職員にはタイムテーブル（地震、避難）を配布し、訓練の流れを事前に確認できるようにした。</p> <p>○各学級の児童生徒の実態に応じ、避難訓練時の基本動作の確認を主とした事前・事後学習を各1～2時間ずつ設定した。今回は予告なしのため、特に事前学習を実施週前に行うことを確認した。</p> <p>○児童生徒の掌握が難しい休み時間の訓練を想定し、二次避難がしやすい玄関に近い場所（小学部：1F玄関前ホール、中学部：1F食堂前廊下、高等部：2F図書コーナー）に各学部毎に集合した。</p> <p>●各避難場所から離れている児童生徒（2Fの小学部児童・中学部生徒、1Fの高等部生徒）は、教師が最寄りの避難場所に誘導し、点呼確認時に該当学部連絡をするようにした。</p> <p>○これまでの記入式アンケートと比較し、避難時の様子や検討事項の確認を共通理解しやすいように、各学部単位で話し合いを行った。</p>

## 3 成果と課題

<b>成 果</b>	<p>1 予告なしの訓練だったが、児童生徒は放送や教師の指示をよく聞き、周囲の様子に合わせた行動ができた。多くの児童生徒がいた体育館は、中学部や高等部の生徒がよき見本となっている等、これまでの避難訓練の成果が見られた。</p> <p>2 各学級を中心に、休み時間の児童生徒の掌握体制を再確認した。</p>
<b>課 題</b>	<p>1 今回の集合場所近くには窓ガラスや掲示物等も多いので、破損や落下による危険がないかを再度確認する。</p> <p>2 児童生徒が様々な場所にいる場合を想定し、今後も継続して速やかな避難ができるための効率的な対応を検討する。</p>
<b>今後の継続予定</b>	<p>1 様々な時間帯を想定しながら、予告なしの避難訓練を実施する。</p>

